

～・～・～・～・～・ ケーススタディ発表会 ・～・～・～・～・～

今日は、3年生のケーススタディ発表会でした。ケーススタディは、実習で受け持たせていただいた患者様への看護を振り返り、行った看護実践の意味や課題を明確にするために行います。発表では、受け持ち患者様の体調を考慮しながら行ったケアの方法や、声のかけ方の工夫など患者様の個別性に合わせて関わったことがわかる内容でした。発表の日は、全員スーツ姿です。キリッとした姿から看護学生としての成長を感じました。



発表は、とても緊張感のある雰囲気です。これから発表の学生は休憩時間に廊下でも発表の練習をしていたり、発表が終わった学生と話をしていたり・・・。



3年生にこのケーススタディをまとめた感想を聞いてみました。

「実習中はケアすることに夢中になっていたけど、自分が行った看護は意味のあるものだったと気づききっかけになった。」と話してくれました。



この発表会には、いよいよ来年から領域実習が始まる2年生が、先輩たちの発表を真剣に聞いていました。

「先輩たちすごい…。私もこんな風にまとめられるか不安」「先輩たちカッコいい」「言葉の表現方法が普段と違って難しい」「普段実習でやっているケアが研究になるって初めて知った」と話してくれました。